

Love and Valentine's day
Omaezaki 2011.2.13



愛をカタチに

隠れた地域資源にスポットを当てたイベント「夕陽がかなえるバレンタイン」。同イベントからまちの観光活性化を考えていく。

恋人たちの愛が、青い空を紅色へと染めていったー。

御前崎市観光協会が主催する同イベントは2月13日「恋人の聖地」として認定されている御前崎ケープパークで開催された。

海岸に隣接する階段から高台にある「潮騒の像」へと続く階段には、イルミネーションが施され恋人たちのムードを盛り上げた。パーク内の駐車場では、ホットドリンクや焼きチョコマシユマロなどが振る舞われた。

夕暮れになると、潮騒の像付近は手をつないだカップルや夫婦らでにぎわい、赤く染まる夕日を眺めては愛を確かめ合う姿が見られた。

観光活性化につなげたい

「バレンタインデーは、女性にとって1年のうちで一番大切な日なんですよ。思い出に残るバレンタインデーだったと感じて

くれば、またこの地へ足を運んでくれると思うんです」。市観光協会の会員で同イベントを企画、運営に携わった島田春夫さんはそう話す。

島田さんに発案の経緯を聞くと「御前崎の観光は下降線をたどっています。このままではいけないと思います。夏は潮干狩りやマリンスポーツを楽しみに観光客が大勢訪れますが、秋から春にかけては何もなく、観光客も少ない。御前崎ケープパークの『夕日と風が見えるん台』からは夕日がとてもきれいな見えます。恋人の聖地にも認定されているとても素晴らしい場所です。きれいな夕日と恋人の聖地とを掛け合わせたイベントで、まちと御前崎ケープパークをPRしたいと考えた末、カップルの一大イベントであるバレンタインデーを思いつきました」と話す。

